

総合的な学習の時間

「福祉：やさしさ広がれ、衣笠小！」

横須賀市立衣笠小学校



単元（題材）目標

- 様々な障がいについての特徴や工夫を知る。
- 障がいのある方の苦労や努力を知り、自分たちに出来ることを考える。

(1) 実施時期

9月下旬

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年 71名



(3) 指導者（教諭・外部講師等）

ボランティアセンターを通して、視覚障がいのある方1名・手話通訳の方2名
本校教諭 第4学年所属 3名

(4) 実施内容

- ① 講演会 「聴覚障がいについて」（各クラス）
 - ・聴覚障がいの方の生活や苦労、努力や工夫について、話を聞く。（手話通訳あり）
 - ・どうやって、自分たちが情報や気持ちを伝えるかを教わる。（ジェスチャー・空書・筆談など）
 - ・日常生活で用いている道具を見せてもらう。 ・質問する。
- ② 手話体験（各クラス）
 - ・手話をする時の表情や目線、気持ちの伝え方
 - ・簡単な手話の仕方（挨拶・拍手） ・指文字での表し方
- ③ 学んだこと、自分たちに出来ること、全校のみんなに伝えたいことについて、各自で振り返り、学級や学年で話し合う。
- ※ 自分から相手に伝えようとする気持ち、相手のことを想像する気持ち、障がいがあってもなくても、思いやりと努力する気持ちを大切にする指導を心がけた。

(5) 成果

- 直接、話を聞くことで、聴覚障がいについて具体的に知ることができた。
- 手話に興味を持ち、簡単な挨拶の仕方を覚えた。

〈児童の感想 一部抜粋〉

耳の聞こえない人は、見た目では分からない。耳が聞こえないと大変だし危ないことがたくさんある。声をかけて、気づいていないと思ったら、よく考えれば色々な方法があって、誰でも伝えられると思った。一番大事なのは、自分が伝えたい気持ちと耳の聞こえない人も会話をしたいと思っているのを忘れないことだ。

(6) その他

全校児童や保護者、地域の方にも、障がいや手話などの理解が広がるように、学んだことを「衣笠小学校ふれあいまつり」で発表した。